



イチョウ

[銀杏・公孫樹・鴨脚樹]

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 外来種



科名 イチョウ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌雄異株

中生代に繁栄したイチョウ科の僅か一種の現存種。自然樹形と黄葉が美しいことから、誰もが樹名を知っている樹。各地に御神木や大木があるのもイチョウの特徴。老木になると'乳'と呼ばれる気根が発生する。強剪定に耐え、大木の移植も可能なため街路樹によく使われる。



葉



葉と短枝



雄花 (雄株)



実

Memo

太古より存在する種で化石植物と言われる。雌雄異株で雌木につく実の果肉を取ったものがギンナン。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸 花期					■ (観賞には向かない)								
🍒 果実											■		
🍂 黄葉											■		
🌱 施肥	(生長力旺盛なので施肥は控える)												
✂️ 剪定	■												

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○				○	○	

ポイント

庭園用には、細身や矮性の品種がある。秋の黄葉は魅力あるが、落葉の量が多く、雨に濡れると滑るので、坂道や階段付近の配置は避ける。雌株は種子が成熟すると外種皮が悪臭を放つ。

剪定

大木になるが、強剪定が出来るため、街路樹などは細身に仕立てられたり、樹冠を止められたりすることが多い。また、剪定も必要だが、落ち葉の掃除も考慮して計画する必要がある。

病虫害

病虫害は少ない。